

■石井十次 わが国最初の日本人キリスト教社会事業家で、孤児院の創始者。『近代社会事業の父』といわれる。

いしいじゅうじ

薩摩藩士密航1865＝ 宮崎県児湯郡上江村で、日向高鍋藩の下級藩士石井万吉の長男に生まれる。母は乃婦子。

明治維新・・・1868＝ 3歳：

廃藩置県・・・1871＝ 6歳：藩校明倫堂の流れを汲む島田学校に入学。

明治6年政変 1873＝ 8歳：

佐賀の乱・・・1874＝ 9歳： 儒学を学び、剣道に励む。

西南戦争・・・1877＝12歳：

成田衝突・・・1878＝13歳：高鍋の晩翠学舎で漢学を学ぶ。

琉球処分・・・1879＝14歳：東京芝の{攻玉舎}に入学したが、

・・・1880＝15歳：病気のため帰郷。_宮崎市で明治政府を攻撃したため逮捕され、50日間拘留されたことが人生を決定、

明治14年政変1881＝16歳：同郷・同年の女性と結婚し、小学校の教師となる。キリスト教を学びつつ医学を修めるうち、新島襄から受

洗した人たちにより岡山教会が設立され、キリスト教の浸透が著しかったことから、

新体詩抄・・・1882＝17歳：宮崎警察署書記。_将来社会に奉仕しようと、岡山に出、カトリックで受洗、岡山県甲種医学校に入学、

岩倉具視没・・・1883＝18歳：

秩父事件・・・1884＝19歳：*プロテスタントに改宗して岡山キリスト教会員となる。新島襄の「同志社大学設立趣意書」を読んで、教育の重要性を再認識し、宮崎で馬場原教育会を設立。脳病に苦しみ、療養と医術研究のため、邑久郡阿智村の診療所へ移っていたが、

帝国大学始・・・1886＝21歳：_来日したミューラーの教えを知って触発され、

国民之友始・・・1887＝22歳：*たまたま孤児を引き取ったことから、孤児救済を志して{孤児教育会}を組織、岡山市内に孤児院を開き、

帝国憲法発布1889＝24歳：_医学書を焼き捨てて医学校を中退、財政が窮乏の極となる中、孤児救済事業に専念。まもなく山室軍平が来訪して生涯の友となる。実業が人を教育するという信念から、各種の職業部を設け、

帝国議会始・・・1890＝25歳：_ {岡山孤児院}と改称。

足尾鉍毒始・・・1891＝26歳：_小橋勝之助の{博愛社}と合同、孤児を播州赤穂郡の{博愛社}へ送って、農業を学ばせる。この年、濃尾大地震が起こると、名古屋に分院を開設して孤児を収容、

大本教・・・1892＝27歳：痔の手術のため同志社病院に入院。救世軍生みの親・ブースの書を送られ、山室とともにヒントを得る。

その後、_さらに院児を故郷の宮崎県茶臼原に派遣して入植させ、

日清戦争始・・・1894＝29歳：

日清戦争終・・・1895＝30歳：山室を茶臼原へ案内。この年流行したコレラに感染、一命を取り留めるものの、看病疲れの妻を失い、再婚して孤児院経営に復帰、

白馬会・・・1896＝31歳：上京して救世軍を訪問。

八幡製鉄始・・・1897＝32歳：私立岡山孤児院尋常高等小学校を設立。

子規句歌革新1898＝33歳：音楽幻燈隊を編成して寄附事業を始め、大原孫三郎と知り合う。

ピノコ国産化・・・1900＝35歳：茶臼原の事業を中止。

田中正造直訴1901＝36歳：

この間、大阪に友愛社という分院をつくり、保育所・夜間学校などの設立にも尽力。

日露戦争終・・・1905＝40歳：茶臼原の事業を復興。

満鉄発足・・・1906＝41歳：_収容児は千2百名となり、世界的に有名となっている。

こののち、孤児院のような収容施設が社会における最下層の人びとを生産していることを知り、孤児院は里

親に切りかわり、「親のない子は子のない親」に育てられるべきだと考え、

アヲキ創刊・・・1908＝43歳：郷里の土地を整理してここに岡山孤児院を移し、この孤児たちを入植させ、里親村をつくろうとした。

韓国併合・・・1910＝45歳：岡山孤児院の男子部を茶臼原へ移し、以後、ここを本拠として活動。

一方、孤児たちを生産する都市のスラムの教化救済事業の必要性を感じ、大阪南部の有名なスラム街で同情館・夜学校・保育所を開始した。しかしこの2つの事業が十分な成果をみないうちに、

明治天皇没・・・1912＝47歳：茶臼原移転を完了し、

大正政変・・・1913＝48歳：*私立茶臼原尋常小学校を設立、茶臼原憲法もつくったが、

第一次大戦始1914＝49歳：持病の腎臓病が悪化し、生前設立した宮崎県の茶臼原孤児院で、_没した。

石井のよき理解者であり援助者は、倉敷紡績の大原孫三郎であった。なお、石井は明治12年より大正2年まで34年間にわたって、その日の出来事・感想を日記に記していた。